

清陵同窓会報

私と諏訪中

同窓会長 35回 山田 六一

私が諏訪中学に入学したのは昭和四年である。当時は昭和初期の不況期で、農村では、藪が一貫匁三・七五、十二三匁したものが、僅か二、三匁に暴落するといふ今では考えられない様な恐慌期であった。そんな時代であったので、小学校六年を卒業して製糸の工女に出る人もあった。こんな中で、諏訪中学に入学するということは、田舎では羨望の目をもって見られ、自らも大変誇りに思ったものである。

入学してびっくりしたことは、高等二年卒のばかりで、

つかい人もおり、また上田舎者は気遅れがしたこと、田舎者は何となくスマートで、懐かしく思うとともに、心より感謝する次第である。当時の地方会が大変活発な時代であった。私は長地村生には、歴史のうけー様鶴飼先生、博物のでんきさ(牛山先生)、地理の三沢先生等々、大変特徴のある先生がおられ、独特の講義をしてくれたことが、今でも印象に残っている。また、おつかかなかった英語のどくさ(長坂先生)、数学を「考え方」という一つの筋を通して教えてくれた金子先生、その他何れの先生も、本当に生徒の為を思って熱心に

特集号

が、よくまとまっていた。「カリ勉をする奴は馬鹿だ」という気風があり、学校の帰りに、長地小学校の校庭で、テニス、野球等に興じたものである。腹がへると新鶴という菓子屋にとび込み、かりん糖やあんぱん等を食べて、日の暮れる迄よく遊んだものである。夏場には家へ帰るのが八時過ぎになり、予習などの出来ないことが度々で、翌日あてられて出来なかつたこと、を今でも夢に見る。また、月一回小学校の教室を借り、十銭の菓子を食べながら、世を憂い、世の矛盾を語りながら、教時間にわたり談論したもので、正に校歌に

ある「我等たすは世をいかむ」という気概を持った時代であつたと思う。また、道中が長いといふことは、近まの人達には味わえない楽しみがあつた。友達と、しやべりながら歩くこと、また、腹がへると鯛焼おかめ焼、焼芋等の御厄介にしよつ中なつたものである。今もって当時の値段を覚えていいる。鯛焼は一個二銭、焼芋は百匁三銭、二百匁五銭等、今とくらべ物質的には雲泥の差のあつた時代であるが、精神的には実に豊かな時代であつたと思う。振り返つて見て、私の人生で一番なつかしい時代であつたと論じたもので、心より感謝している。

故原田福太郎君へ

副会長 37回 石井 睦蔵

「あそこのものは固すぎる」「あそこのものは読みやすく親しみを感ずる」「体裁はどこその学校のものが気に入つた」などと言つていたし、清陵の八十年史で取り上げなければいけない問題は何かというようなことについても考えを持つていたようである。むずかしい大事業になるが、これはよい人を得て必ずや素晴らしいものが計画通りにできるものと、みんな大船に乗つたよな気分持っていた。こんな原田君が中途で病魔に倒れるなど夢にも思つていなかった。

清陵同窓会報第二号に彼は「校歌あ、博浪の謎」と題し、第二校歌の作詞者中島喜久平について誠に詳細な論証を試み発表して顔で、ほつとさせられていた。

しばらく彼のシャゴウ集をし整理をしていた。「食品流通業界は仲々競争が激しい業界だと聞いている。その社長業をしている彼に、こんな方面の違つたま

た手間のかかることをさせてしまつて……。やつている本人はいいとしても、奥さんにはさぞ怒まれていることだらう……。秘かにこんな心配をしている時、彼の親しい友人が「大丈夫、福ちゃんは今学生時代から無類の読書家で、今でも目ぼしい新刊は端から読んでいる。それに、ああいうことには趣味がある。八十年史には「まんむぎた。奥さんの方も心配無用、彼女は二葉以来の才媛、文学女性な原田君が中途で病魔に倒れるなど夢にも思つていなかった。万葉集鑑賞とか伊勢物語の研究だとかやつてい

は「校歌あ、博浪の謎」と言つてくれた。そういえば、たまにお目にかかる奥さんの顔は何時も明るく笑顔を、ほつとさせられていた。

しばらく彼のシャゴウ集をし整理をしていた。「食品流通業界は仲々競争が激しい業界だと聞いている。その社長業をしている彼に、こんな方面の違つたま

病状は日一日と悪化し、遂に帰らない人になってしまった。完成させてやりたかった。中にも秘めていたことをい

「胃潰瘍」ということで胃の手術を受けたが、この時、奥さんだけに、この病が不治の病であると知らされてい

にはもちろん、近親者にも知らせずに来たこと、さら

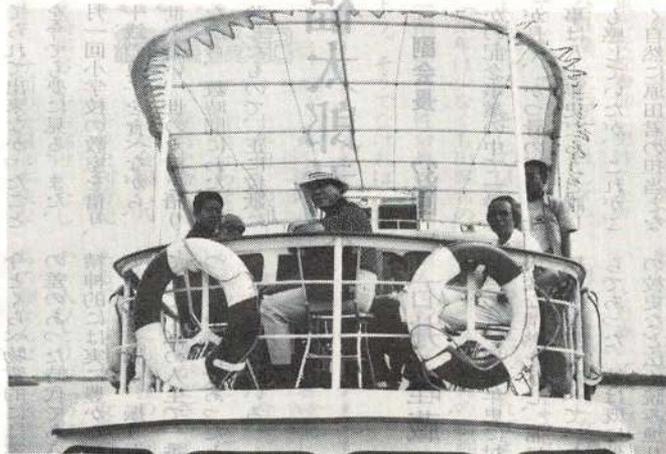
にこの奥さん一人だけの胸

ハルピン寸描

副会長 36回 小口 禎三

日本の科学技術、工業、農業等、広範にわたる短篇映画を、中国の主要都市で上映すること始めて、好評裡に今年四回目を迎える。その上映会の北京における開幕式に出席した。八月三日の開幕式には、中国の要人、ジャーナリスト、日本大使館から瀬木公使なども出席し、千人近い参会者を

得て、民族文化宮は満員の盛況であった。その日は持参した多くの作品の中から代表作三本を上映し、観客に大きな感銘を与えたようである。



河風が心地良い松花江の遊覧船

あるいは軍人として旧満州へ渡った。それらの人達から中国の話聞くことが多かったが、それぞれの立場で印象が違っていたのは当然であろう。しかし、それらの話の中から、私の中に東北地方に対してのあるイメージはあった。

祝 清陵八十年史刊行

諏訪清陵高校同窓会

顧問

大森 栄

名誉会長(学校長)

矢島 五郎

会長

山田 六一

副会長(東京支部長)

小口 禎三

同

石井 睦蔵

常任幹事(総務)

(以下順不同)

井上 彦次

同(庶務)

勝山 甲一

同(会報委員長)

田中 吉泰

同(諏訪支部長)

藤森 秀雄

同(岡谷支部長)

高木 常雄



児童公園の名物・展望車

満州時代のことに及ぼうと
 すると、巧みに話題を外ら
 して、明日の見物先のこと
 など自慢して笑わせ、私た
 ちの懸念を吹き飛ばしてし
 まう。この細かい心遣いに
 は敬服し感動した。翌日案
 内されたハルビンの街は、
 ロシヤ風の建物、そして古
 い石畳など、やはり想像し
 ていた雰囲気を感じられた。
 しかし、ハルビン学院のあ
 ったあたりや、有名なキタ
 イスカヤ通りなどは旧市街
 といった感じで、心なしか
 活気がなかった。昔の夢を
 敢て破ることもなからうと
 いろいろ穿さくすることは
 やめて、案内されるままに
 スターリン公園の散策にて
 松花江に沿って幅
 五十メートル、長さ二キロ
 といわれるこの公園は、札
 幌と同じように楡、ポプラ
 などの並木が続き、八月の
 太陽を木陰にさける老若男

女がひしめいている。やが
 て、ハルビンの街を眺める
 のに最適といわれる松花江
 の遊覧船に乗る。(写真参
 照)三、四十人ほど乗れる
 船は何と我々の専用である
 船室を通ってデッキに出る
 と、十脚あまりのデッキチ
 エアが並び、テーブルには
 つめたいジュースが用意さ
 れている。二十五、六度の
 気温に、河風がまことに心
 地よく、岸辺は子供達の河
 童連中で一杯である。一時
 間以上も河を上り下りする
 が、風景は見飽きることが
 ない。船内のどこから日
 本の民謡が流れてくる。こ
 れでビールがあつたらなど
 と不届なことを考えていた
 ら、下船の合図がある。午
 午後はハルビン名物、児
 童公園を訪ねる。名物とい
 うのは、この公園内を走る
 遊覧鉄道のことだ。すべて
 子供が管理運営している
 という。なるほど、車が公園
 の門を入ると、ユニホーム
 を着た子供たちが大せい走
 ってきて握手攻めである。

男児は白い開襟シャツに半
 スボン、女児は白いブラウ
 スに赤いスカート、腕に駅
 長、運転手、検札係などの
 ワッペンをつけている。は
 つとするほど整った顔立ち
 の子供ばかり、駅の待合室
 に入ると二十名ほどの駅員
 が整列し、駅長が児童列車
 について説明する。説明が
 終わると改札である。六両
 連結の五両までは、すでに
 中国のお客さん達で超満員、
 我々は後尾の展望車へ(写
 真参照)児童列車「紅水号」
 は少年運転手の手で発車、
 やがて可愛らしい少女の検
 札係が大真面目な顔で検札
 に来る。全長二キロ、公園
 内を十二分の一周する。我
 我はみんな子供にかえつて、
 何とも愉しいひとときであ
 った。
 ハルビンから長春へは希
 望どおり汽車の旅をするこ
 とができた。昔の満鉄、広
 軌で座席もゆつたりしてい
 る。早速列車長がやってき
 て、何か飲むかと、昼食
 は何にするかなど、隣りに
 座り込んでしきりにサービ
 スしてくれる。窓外は麦畑
 どうもろこしの畑、あるいは
 は牛や馬が草をはむ緑の牧
 場が後、後へととんでゆく。
 特に一面真黄色な向日葵の
 畑は日本では見られない風
 景だ。これはもちろん食料
 用である。
 現在、平年作ならば十億
 の人民の食糧は自給できる
 という。しかし、かつて日
 本の支配と略奪によって荒
 れ果てたこの地方を、こん
 なに回復させるためのこの
 人々の血の滲むような苦闘
 を思うと、王さんを相手に
 屈託のない顔で、酒盛りを
 始めた若い仲間が羨しい気
 がして、自分の齢が悔まれ
 た。
 四時間て長春に着き、明
 日は東洋一の規模を誇る長
 春映画制作所(旧満映)な
 どを訪ねるのだが、残念
 ながら残数が尽きた。
 (東京支部長)

- 同 (茅野支部長) 伊藤 治夫
- 同 (下諏訪支部長) 平山 正健
- 同 (富士見支部長) 五味 一
- 同 (原支部長) 松沢 達
- 同 (辰野支部長) 赤羽 貞雄
- 同 (長野支部長) 五味 連
- 同 (松本支部長) 吉江 久明
- 同 (事務局) 山崎 忠
- 監事 小松 定弘
- 同 藤森 楨次
- 同 ほか役員一同 信専 慈沢
- 諏訪清陵高校教職員一同

祝 清陵八十年史刊行

東京支部長

年史刊行によせて

学校長 矢島 五郎

去る昭和五十年本校創立八十周年を迎えるにあたって、立案された諸計画のうち、同窓会員名簿の作成、財団法人諏訪清陵会設立にともなう生徒諸活動の援助——とりわけ新艇庫の建設——といった大事業の完成の後に、最後に残されたのが「八十年史」の刊行であり、五十二年の四月、この計画を前任者よりお聞きしたとき、直ちに頭に浮んだのは「深志九十年史」発刊にまつわるさまざまな思い出でありました。直接その編集に

困難を連想せざるを得なかったものであります。このような年史の刊行は初めての経験であること、本校八十の歴史は膨大な資料を有しながらそれが分散していること、編集に従事するものが授業や生徒指導の仕事を持つ教職員であること、その他いろいろの条件を考慮するとき、発刊に至るまでには相当の時間を要することは思量せざるを得なかったものであります。とりわけ編集の仕事に直接従事される先生方の校務上の配慮は当然のこととしても、過

重な負担から来る健康上の問題が心痛の種でありました。果せるかな幾人かの先生が体調の異常を訴えられ、一時はどうなることかと大いに気を揉んだ時もありました。一日も早い刊行を願いつつも、このような状況

もまことに輝しい記念碑であり、過去に確かなる軌跡を再確認されるでしょうし、在校の二苦労に対し深甚なる敬意と賞讃を捧げるとともに、陰に陽に援助の手を差しのべられた多くの方々のご熱意に深く感謝の念を表する次第であります。

「清陵」の歴史が独自の道を歩んできただけに、その年史も必ずや特異性に充ちたものであり、発刊の晩には内外を問わず大いなる話題を呼ぶものと確信しています。この年史によって同窓生の皆さんは自らの

玉川会の灯を掲げて

41回 保延 醇一

敗戦後、玉川会がいつの間にか、昭和五十年年度版東

た。そこで、田島泰平(33回)・五丸九十二(36回)・牛山正雄(38回)諸先輩と相談の上、玉川会を開くことにした。この会の趣旨は、クラス会、同窓会などと異なり、同じ村に生まれ育ち、小・中学校に学んだ仲間達で、これから一年に

(有)坂本電化
 諏訪郡富士見町落合8716
 TEL(02666)②3851
 代表取締役 坂本喜彦(第48回)

宮坂税務会計事務所
 税理士 宮坂重正(四十五回)
 同 長 男 宮坂通世(七十五回)
 次 男 宮坂泰生(七十九回)
 諏訪市諏訪二丁目十番二十五号
 ○二六六五(八)四三五(代表)

日本一ちっぽけなそば処
(有)田毎庵
 代表取締役 田中吉泰(46回)
 諏訪市甲州下金子(白狐線入る)
 電話(諏訪)8-0106番
 (自宅 電話(諏訪)3-2971番)


elpatio
 RESTAURANT エルパティオ
 ステキは当地方的一流の本格的レストラン
 諏訪市本町駐車場隣り
 TEL(8)2301
 代表 宮坂八千穂
 (第71回生)

いでも、どこの○○さの家
の近くで、と口上がはじま
ると、座がなごやかになり、
村のこと、学校のこと、玉
川会のことなど、次から次
へと話がはずみ、今までの
クラス会や総会などと一味
ちがって、時のたつのも忘
れてしまう位だった。後輩
からは、高校出身者まで
もつと棒を上げたという
意見もあった。

不思議な縁で、一夜、
膝つき合わせて、飲みかつ
て、

食べ、しゃべる中で、一体
何が得られるだろうかとも
考える。

お互いに生ある限り、この
気持ちを大切にしたいもの
だ。

玉川会の参加者について
も、むずかしいだろうが、
将来は徐々に棒を広げてい
かねばなるまい。諏訪の地
元を含めて、玉川会の灯火
を更に大きく掲げたいもの
である。

世話役としては、近く第
二回の集いを検討中である。

激動の時代と二先生

35回 赤羽 貞雄

私たちが入学した昭和四
年頃は、世の中が不安定な
時代で、満州事変から日支
事変、さらには大東亜戦争
へと発展する要素を抱えて
いただけに、人心も穏やか
でなかった。

入学して第一にぶつつかっ
たのは、板倉操平校長排斥
運動であった。連日先輩な
ど校外の人々が、学校の内
外を右往左往していた。私
は、こうした中で、その時
校庭の入口の辺りに押し立
てられていた。「雖千萬人吾
往」の旗と共にこのことは
が、実感的に我が心に彫り
つけられ、生涯の柱となっ
てしまった感がある。

当時、日本経済の逼迫と
人心の不安定な動きに対し
て、軍部ないし右翼集団な
出た。

いわゆる満州事変が起き
ると、一層世は殺伐となり
右翼の動きが表面に出て、
人々の間に不安感がみなぎ
り、類稀的な流行歌が巷に
流れ出した。それらの歌は
いまだに忘れることができ
ない。

経済恐慌の中で、進学に
も影響をみせたのは、学費
がかからないことが魅力で
あつたが、優秀な人々が海
軍兵学校、陸軍士官学校、
それに長野師範学校第二部
などにも極端なほどに多く
の先輩、現役が志願した。
いまふうにいえば、コン
パということになろうが、
「伊那会」を四年何部かの
教室でやつた。その時、波
浮の港」を歌っていたら、
「でんきさ」と親しまれて
いた牛山伝造先生が、例の
特徴ある姿勢で回つて来ら
れ、「おめえさまたち」とあ
いづいかなる時世にも必要
なのではあるまいかと、当
時を振り返り、思うこと
を語つた。ほかの会でも歌
つていられると、上級生が
抗議したら、「いけねえ、い
けねえ、学校の中ではないけ
ねえ」と言われてしまった。
吉江幸一郎先生が書き
記」の本の中に、牛山先生
といふならした三沢勝衛先
生が、職員会で配属将校と
やり合い、教練も地理も、
生徒に対する授業としては
軽重はない、というのが三
沢先生の論旨であつたと書
かれていた。いまにして思えば、あの
時世の学校運営の上で、こ
うとうと押し寄せる軍部の
圧力の中で、摩擦のないま
う切り抜ける細心の注意を
払われた牛山先生と、学問
尊重、生徒尊重の立場を貫
こうとした三沢先生とは、
共になくてはならぬ存在で
あつたであろうことをつく
づく思わざるをえない。

こういう二つの立場は、
いついかなる時世にも必要
なのではあるまいかと、当
時を振り返り、思うこと
を語つた。ほかの会でも歌
つていられると、上級生が
抗議したら、「いけねえ、い

五味法律事務所

弁護士 五味正明 (第65回)

〒392 事務所 諏訪市諏訪二一四三二
TEL (02665) ③6203
自宅 〒392 諏訪市城南一八二六十五
TEL (02665) ③3521

平林内科医院

平林敏秀 (47回)

下諏訪町立町三三〇八一
TEL 02662 (7) 5857

鮎沢耳鼻咽喉科医院

鮎沢 瑞穂 (47回)

諏訪市 大和三一三一二
TEL 02665 (2) 6434

おさん

紳士服と婦人服の店
田中正義 (45回)

メンズ店 諏訪市本町1丁目
TEL 2-1118
レディース店 諏訪市末広1丁目
TEL 8-2228
ラセーヌ 諏訪市本町2丁目
TEL 3-5888

年史発刊によせて

42回 吉沢 登

昨年来、先輩諸兄のご支援を得て刊行することができた「流るる河は二百里」につきましても、数多くの激励やご批判を頂戴し感謝しているところであります。また、本書の一部が八十年史にも抜すいされ誠に光栄と存しております。同窓会にもご無沙汰していたわけでありすが、八十年史発刊を機にお祝い申し上げるとともに、協力をさせて頂くと共に、郷郷を出てより数十年、幾多の変遷を経て今日に至ったわけでありすが、思い出すのはやはり諏中へ通った当時であり、古びた学び舎での生活です。本を出版したことにより、平素無縁の同級生、同窓生に数多く接し、諏中当時を語り合

思い出すがままに

33回 藤森 秀雄



揃っていて、地理天文の三沢先生、国漢の菊池先生、数学三角の三輪先生、歴史の鶴飼先生等；教科書はいらない、試験勉強は通用しないという人格識見高邁なる大学教授級の先生が多数おられ、勉強とはどのようなものか、今で言えば生涯教育、人生勉強を教えていたように思います。今の青少年たちは受験のための勉強を強いられ、入試テストのための青春であるように思われます。このことの善悪は別の問題です。私はいま県警本部長の委嘱を受けて少年非行の防止活動、青少年の健全育成活動をしている少年友の会員

年月の経つのは早いものは、水泳部長をやった五味知雄君と私ぐらいのものでした。当時どうやら三分の高校を受験したいということで、つい先日、オーストラリアのシドニーから単身帰国しました。そんなことから大学受験のことを聞いて、昔と比べてみました。私共の時代でも諏中（今の清陵）では入学時二百名の同級生が転退学その他で卒業時七十名くらいに減って、その大方九〇%の人が何等かの大学（今の）へ進学して行きました。諏訪在住者で進学しなかった者

かなり優秀な者でなければ早大、慶大等の私立大学への入学は大変困難であること、本当に隔世の感があります。ある一面で本當に気の毒やらかわいそうな気がします。私共の時代ではかなり遊んだり、スポーツや科学会活動をしていても、試験の一週間くらい前からチョコチョコとやれば、なからの点が取れたものでした。当時諏中には名物先生が大勢

ここに八十年史の刊行を

大、立教等は無試験か簡単

高島農園

小松清一 (55回)

諏訪市高島1-11-4 TEL(2)2831

矢崎 舜彦 (47回)

TEL 02667(2)2231

高見 勝補 (47回)

TEL 02665(2)5231

皮膚科・泌尿器科

向山医院

医学博士 向山敏幸 (第43回)

〒392 諏訪市末広1-2 Tel(02665)2-4177

校内暴力、家庭内暴力が毎日、新聞、テレビで報道され

ていますが、これは現今だけの現象ではありません。

今から五十年も昔の私たちの中学生時代にもありました。

もっともその当時は諸先生からお前たちの学年は

後にも先にもない悪童だ、手のつけられない悪だ」と

言われましたが、授業中に先生に本を投げつけた者と

か、戸を閉めて先生を教室に入れなかったとか、戸の

上に黒板ぶきやバケツをつるし開戸した先生の頭に落

としたり、授業中に相当失礼な質問をして授業を妨害

したりの程度で、先生をなぐったという話は聞きませ

んでした。ただ卒業式の日に某主任の先生の家へ石を

投げてガラス戸を破り新聞に載った者もいるなど相当

の悪をやったものですが、今の事件と比べれば陰湿で

悪どい救いのないものと違い、何かカラッとしていた

ような気がします。

これはどこに原因がある

のでしようか。受験競争から来る学校教育のひずみか

あるいはもともと根本的な家庭教育の問題、幼児からの

同窓会に若返りを

56回 測上 良子

同窓会の前々日「同窓会に行かれますか。行かれる

よってしたら、僕の車をまわしますが……。」というお

電話を三十年ぶりに、ある先輩からいただきました。

突然のことでしたので、「半日考えさせてください」と

答えて電話を切ったのですが、欠席の予定にしてあつ

たので迷った揚句、半日後に「出席することにしまし

たのでよろしく」との返事に「出席することになりました。

欠席の予定というのは特別に用事があつたわけでは

なく、毎年出ていないので、というだけのことで、私が誘われて出席する気になつたのは、二つの理由

がありました。一つは、声をかけてくださった先輩の方がたつた一

年しが清陵と一緒にいなかった上級生ですが、三十年

間覚えていってくださったという不思議な感動でした。

もう一つは、男女共学になつて三十年、現在は在校生

の四分の一が女生徒で清陵の四分の一が女生徒で清陵

に対する是非論が校内にあると同窓会報で読み、で

きれば若い女子の卒業生と直接お話してみたいという

気持ちがあつたからです。前述の先輩の車に同乗さ

せていただいて、東京・昭島市より懐しい諏訪に向か

い、総会に出席したわけですが、女子の出席者が私一人

だったので大変緊張しました。懇親会の席上「どう

して若い女子の卒業生が参加しないのでしよう」と役

員の方に申しあげたら「先輩が誰も参加しないので、

最後は、みなさんに歓迎していただき、楽しいひと

ときを過ごすことが出来ましたことに対し、厚くお礼申

上げます。(旧姓・守屋)

ししました。

長老のみなさんの意気軒昂な歓談ぶりや校歌の斉唱

を拝聴して、かつての同窓会では健全な同窓会と

は云い難く、もって若い年代の人達も多く参加して、

諏訪中・清陵八十余年の生きた歴史そのものの集いがあ

つてこそ意義があるのでは、

と思ひました。

方会もそれ、に盛会のご様子で何よりと思ひますが、

総会は総会なりに八十余年の歴史の上に今後の清陵の

望ましいあり方が問われ、



(諏訪支部長)

三井不動産販売特約店
建設大臣免許(5)333号

第一不動産株式会社
支社長 土橋 仁(43回生)

諏訪支社 諏訪市諏訪1-3-11
TEL代表(2)5361

本社 東京都新宿区西新宿1-17-1
(日本生命新宿西口ビル7F)
TEL 大代表 (342)5111

麗人酒造株式会社

代表取締役
小松 修治
(第64回生)

本社 諏訪市諏訪2-9-21
TEL(02665)②3121

諏訪市市議会議員

河西 孝夫(48回)

自宅 長野県諏訪市清水町一七一二三
電話(〇二六六五)⑧二二四八

中部電力株式会社
下諏訪営業所

所長 **小松 昭太(48回)**

〒393 長野県諏訪郡下諏訪町立町三二九七番地
電話(〇二六六五)⑦八二八二番代

祝清陵80年史刊行

内科・精神科

医療法人社団いちい会

吉沢病院



理事 長 吉 沢 利 雄 (39回)
院常 理 吉 沢 登 (42回)

東京都町田市小野路町1632番地 TEL 0227-35-2621 (代)

同窓会

企画 / 編集 / デザイン / 印刷

流るゝ河は一百里 日本水産70年史

中央公論事業出版

TAS

(株)東京アド・ソース

代表取締役 安藤 幸一

本社/東京都新宿区四ッ谷4-3-2 中川ビル5F ☎(03)355-6177(代) 分室/東京都新宿区四ッ谷4-4 西口ビル4F

くらしと産業に奉仕する三協グループ

株式会社三協精機製作所
伊那三協株式会社
飯田三協株式会社



三協精機

取締役会長 山田 正彦
代表取締役 久保田 実
専務取締役 山田 六一 (35回)
常務取締役 今井 芳樹 (42回)

本社・工場 長野県諏訪郡下諏訪町5329 〒393 TEL 02662(7)3111
東京支店 東京都港区新橋1-17-2 〒105 TEL 03(502)3711
大阪・名古屋・静岡・福岡・ニューヨーク・ロスアンゼルス・デュッセルドルフ・香港・マレーシア

祝清陵80年史刊行

“メカロニクス時代”を創造する SWセイコーグループ

SEIKO

- 株式会社諏訪精工舎
- 高木工業株式会社
- 天竜工業株式会社
- 信州精器株式会社
- 株式会社浜沢工業
- 松島工業株式会社
- 塩尻工業株式会社
- 島内精器株式会社

ご宿泊ご宴会に是非ご利用ください。

上諏訪温泉 国際観光旅館・日観連会員
スワシティホテル

成田屋

松沢一夫 (40回)

諏訪市大手並木通り
TEL (2)-4500(代)

新しい飛躍に 新しい力を



- 書籍・雑誌等の企画・編集・印刷
- ポスター・パンフレット・カタログ等の企画
デザイン・広告文案・写真撮影
- 新聞・テレビ等の広告代理

株式会社 中央企画
〒392 諏訪市四賀821 ☎(02665)8-2382(代)

中央印刷株式会社
〒394 岡谷市川岸108 ☎(02662)2-5551(代)

営業所(岡谷・諏訪・東京)工場(岡谷・伊那・東京)

株式会社 カカホ

本社工場 長野県茅野市宮川4900

TEL 茅野(02667)2-6111(代)

代表取締役 花岡健雄 (46回)

専務取締役 小川義弘 (46回)

マイクロエンジニアリング株式会社

MICRO ENGINEERING CO., Ltd

長野県茅野市ちの塚原989

電話茅野(02667)2-6551(代)

取締役工場長 立木嘉彦 (46回)

三沢先生の思い出

33回 高木 常雄

諏訪中学に入学したのは、昭和二年四月でした。塩尻峠の麓今井より下諏訪駅迄四キロ、上諏訪駅より約二キロの道を風雪もいとわず通学致しました。体力に乏しく学校でも何時も最後尾の私にとって、一年生、二年生の時代は大変疲れました。五十年余り経過した今日でも、足腰共に健在で居られることも二途に五年間の通学の賜物と何事も感謝して居ります。

向、温度、更には水質検査など調べたいと連絡があり山の中を歩き、種々苔の生育状態、柿の木枝等によって風向の調査等に御供を致した事も御座居ます。

昭和十年頃不景気風が吹き荒れ、農村の疲弊は益々深刻の度を深めて行きました。当時青年団の役員であった私は、先生に講演会を頼りました。先生は「農村と自力更生」と題して講演されました。

入学の節、縁あって保証人を三沢勝衛先生に御願ひする事になり、先生の御宅を訪問する機会があり、その都度寸陰を惜しみ勉強しろとか、食事は出来るだけ噛んで食べろとか、平素学校の授業もさることながら、以外の教えも受けたものです。昭和七年三月学校を後にしました。その後、先生より塩尻峠の付近の風の動

向、温度、更には水質検査など調べたいと連絡があり山の中を歩き、種々苔の生育状態、柿の木枝等によって風向の調査等に御供を致した事も御座居ます。

昭和十年頃不景気風が吹き荒れ、農村の疲弊は益々深刻の度を深めて行きました。当時青年団の役員であった私は、先生に講演会を頼りました。先生は「農村と自力更生」と題して講演されました。

よき学校とよき級友

33回 平山 正健

昭和元年三月私は諏訪中学に入学したが、通学二週間に於て湿性胸膜炎にかかり退学した。翌年三月再び試験を受けて入学、一年三部に入った。

昭和元年三月私は諏訪中学に入学したが、通学二週間に於て湿性胸膜炎にかかり退学した。翌年三月再び試験を受けて入学、一年三部に入った。

調子、張りのある声、情熱的な笑顔が印象鮮やかである。体が小さく弱々しい私の席は後ろの方で、体の大きく少々反動気味の生徒から時々いじめられた。弱みの事もあって、下諏訪からの汽車通学の仲間に入った。甚大、泣かされた先生さへ二年は四部で、この年小学

株式会社ヒカリ

代表取締役 吉田 英登 (第五十九回)

専務取締役 大島 一徳 (第四十二回)

諏訪市上川一六一四番地
Tel 〇六五 ② 〇五〇〇 代表
⑧ 〇五〇〇

祝 太陽観測30周年記念

観測研究に従事された同窓生、在校生に心から感謝いたします

諏訪清陵高校天文気象部〇B会

世話人代表 千三九二諏訪市諏訪二一五

(有) スズキヤ薬局

代表取締役社長 牛山 充正 (第五十一回生)

(有) ツキドウ

代表取締役 今井 章雄 (第48回)

本店 岡谷市中央町一十二一
TEL 22276

長地店 松電長地ストア一内
TEL 2027

坂先生からひどいお目玉を頂いた記憶は忘れ難い。授業で印象深いのは三沢先生の地理だった。日本列島生成論、宇宙論（特に太陽系）、聚落論等教科書を使

懐しい名物先生たち

29回

松沢 達

わぬ講義は誠に説得力があり興味深かった。菊地先生の漢文特に漢詩の注釈、小沢俊雄先生の論語の講義、窪田先生の歯ぎれのよい英語、また私は運動も武道もあまり好まなかったが、体操の山本藤吉先生の鉄棒の演技が印象に残っている。そのほか、そのあだ名の示すごとく特徴のある先生方の授業の思い出は尽きない。休み時間は、寒い間は講堂の裏の空地に集まっての雑談が楽しみであった。自治の旗の下に行われた各種行事、試験より得たものは見えない力となって今日まで私の中で様々な作用してきたようである。下諏訪黎明会の思い出も尽きない。よき学校とよき校友に恵まれた事を心に刻みながら、年来の希望であった教師を

諦め、縁あって私は受験の発、台湾航路の日本郵船朝日丸船上に、今は亡き同級のため、昭和七年二月初め出

の親友今井健四郎君と共にあった。このほかに高学年で習った河西健児先生、親しみを

勝っただとたずねた等と、生徒は悪口を言っていた。このほかに高学年で習った河西健児先生、親しみを

私が諏訪中へ入学したのが大正十二年四月で卒業が昭和三年三月である。その五年間に大勢の先生方に御世話になったがそれらの先生方の思い出を仇名と共に記してみる。先生方には失礼に当る点もあると思うが、悪意でなく五十数年前の懐かしい思い出としてお許し願いたい。一年の時は二部で主任は樋口爲之助先生。仇名は爲さん。英語の先生で発音が奇麗であると言われた。奥さんは、おちようさんとい

幽霊。漢文の先生でよい声で時々節をつけて朗読された。三年の時は一部で主任は牛山傳造先生。仇名はデジキ。よくコンビ〜と生徒と呼ばれた。そうして「皆はそう言っは悪いがまだ口ばしが黄色いからなあ」と言われた。よく胸乱を持って鼻歌で植物採集に行かれた。四年の時は三部で主任は山岡先生。生徒は化学と呼ば

そのほか数学で三輪玄藏先生から代数や幾何を習った。仇名は玄さ。定規を持って教室へのぞんだ。コンパスは使用せず円を白墨で上下に長くよく描いた。魂魄宇宙の外にあっては駄目だと大きな眼で言われた。漢文が有名な菊地久吉先生であった。辞書にもよく誤りがあると言われた。論語の徳は孤ならず有徳者は孤立することはないと説明された。同じことを二度繰り返さず解釈を聴いていると本当にうつとりとした。仇名はなわちさん。野球を生徒がやっているときよく見にこられた。便所のそばで何時も見えられた。生徒は先生が見えるとなわちさんが定位置にいたと言っていた。終わりまで見ておられて生徒に結局どっちが



●自慢の中華料理●美味しい日本料理●きれいなお風呂

うらかめや

諏訪レイクヒルカントリー
クラブ・レストラン

代表取締役 植松大六郎 (昭和5年入学)
専務取締役 植松友一 (昭和36年入学)
常務取締役 植松 淳 (昭和43年入学)

日本 下諏訪町小湯の上 TEL (0266) 777-111

皆様の豊かな暮らしに奉仕する

諏訪瓦斯株式会社

取締役社長 小口晴雄 (29回生)

本社 諏訪営業所 諏訪市諏訪二丁目二番三号
電話 (0266) 215111
岡谷・下諏訪営業所 岡谷市湖畔二丁目大番士号
電話 (0266) 217666

総合建設業・設計施工
一級建築士事務所

株式会社 六協

代表取締役社長 河西秀雄 (39回)

諏訪郡下諏訪町(三協精機内)
電話 0266286000

旧諏中とマラソン

42回 井上彦次

昭和十一年四月、あこが
れていた諏訪中学へ入学す
る事が出来ました。当時下
諏訪町に住んでいた私は、
諏訪中学まで往復約三里の
道を朴歯の下駄を履いて湖
畔の街道を歩いたものでし
た。帰りは旧道の方が春か
ら秋へかけては気分がよい
ので、旧道を歩くことが多
い様でした。

石投場では、当時は今よ
り湖面までずつと近く、諏
訪湖の湖中へ友人等と何回
も石を投げこんだこともあ
りました。国道を入も車も
余り通らず、見通しが良く
石を投げて危険は全くあ
りませんでした。また、石
投場の草むらの傾斜地へ腰
を下ろして、暮れ行く諏訪
湖を眼下に暗くなるまで、

友人達と放歌高吟又議論を
したこともあり、冬は諏訪湖が全面結水す
ると、登校時下駄スケート
を風呂敷に包んで家を出、
高浜から片倉館辺りまでス
ケートで滑り、帰りは又同
じコースをスケートで滑つ
て来ることも何度もありま
した。だが春先き氷が解け
始める頃、何度が氷が割れ
て湖中へ落ちたこともあり
ました。

清水のカネサ呉服店の前
に荒縄を電柱から電柱へ国
道を横断して張り、その後
方に一年生から順に五年生
まで全校約千名の中九百人
位が、押し合いへし合いす
る中五年生の係が撃つ三八
式歩兵銃の銃声一発、穴ほ
こだらけの国道を一目散走
り出したものでした。

当時の岡谷の街の中央部
を釜口橋へかけ抜け、ほと
んど自動車など走らぬ国道
県道を走ったのですが、二
十一、二キロメートルはあ
ったでしょう。

あれから道は総て舗装さ
されたマラソンシューズ等
全く無く、普通の白いスツ
ク靴なら上等の方、木綿の
つぎの当たった中古足袋を
履いて走る人も大分いまし
た。大低白スボンに木綿の
白か赤の運動帽をかぶり腰
には日本手拭いをぶらさげ
て走りました。

鏡の様に光る諏訪湖の湖上
走る額から流れ落ちる汗を
げんこで拭うその眼の底に
くつきりと焼きつくこの自
然の景色、それは昔も今も
変りない素晴らしい故郷諏
訪の自然の景色を、北海道
から神戸から、東京からO
Bの多くはそれを懐しく参
加するとも聞いております。

今は当時と違って、旧道
から旧道、山道を選んで走
るので、そのせいか秋の自
然との出合いは、余計にも
昔と変らぬ思いであるのか
も知れません。

だが、それだけに諏訪の
自然を尊く大切に残したい
思いで一杯です。

想えば私は諏訪中学を卒
業してから、ずーっとマラ
ソン等打ち忘れていた処、
昭和四十五、六年頃、自宅
の建築やら営業面から過勞
が続き、遂に心不全冠不全
が続き、遂に心不全冠不全
肝臓肥大ということに変調
を来し、入院寸前というこ
とになってしまいました。
勿論医者にも診て貰い、
命あつての物種、商売上
(薬局)も出来る限りの手
当は致しました。

然し大分良くなったとい
うものの、まだはかばかし
くありません。友人の両角
医師からは良い空気と適度
の運動が必要とて、推めら
れてゴルフにも通いました。
病氣克服の為、書店から
多くの本を買って読みまし
た。その中にアメリカの名
誉医学博士である走る名医
サディアス・コストルバラ
博士の、健康の為のバイブ
ルとも評判の「走る健康法」
と言う本を読み、私は走る
決意をしたのであります。

心臓が悪いのに走るなど
とは狂気の沙汰と忠告して
くれる人もいました。だが
決意した私はこの本を忠実
に読本として昭和四十六年
四月一日から走り始めまし
た。四月一日、三日坊主で
もお笑い下さるなというつ
もりだったが。

株式会社 **スタンダードプレス**

代表取締役 **太田信男** (51回)

本社・工場 千三九三 長野県下諏訪町西四王

電話 岡谷 (0266) 711-000 (代)

旭 **教育をテーマにひとすじ**

旭 **文教社** 0266652103399 (代)

雑誌 **日本教育機器エコー** 02666533311 (代)

全日本家庭教育研究会 02666533313 長野支部

日本ペイント株式会社特約店

塗料と塗装設備

有限会社 **中島料塗店**

代表取締役 **中島伸一** (59回)

本店 諏訪市中州福島問屋町 TEL (2) 6070 (代)

小売部 諏訪市諏訪二一五一 TEL (3) 3852 番

然し確かに徐々と効果は顕われ、年に二回の健康診断も四十九年には全く異常が認められなくなり、走る距離も次第に長くなって来た処、当時の清陵高校小菅校長、矢島子郎先生のすすめもあって秋の湖周マラソンに、同期の小松昌明さんと共に参加することにになりました。

下諏訪の秋宮が春宮辺りでも健康回復に役立ったので止めて帰るつもりだったが、遂高島城ゴールまで完走出たのですが、特に一番目の廻る程苦しかった、いわゆる「うしまさ坂」で先頃惜しくも故人となられた牛山正雄先生が心から優しく強く激励して下さったことは今も忘れることが出来ません。「うしまさ坂」ではもうそれから六回も激励を受け、そのお姿は今もありありと脳裏に焼きついて離れません。「うしまさ坂」の名は何とか表示して後世に残したいものと、三回目の参加の頃から強く思い出し人にも話し始めたものでし

た。あ、然し牛山先生今は亡し。心からご冥福をお祈り致します。走るということそれは私にとって命の恩人です。更に医師にも言われ、本にも書いてあるし、他にも感ずる処あつて走り始めるの時に、長年ご縁のあつたタバコともすっかりさよならを致しました。こんなことも健康回復に役立ったでしょうか。

更にOBとして、若い現役の生徒諸君と肩を並べて走れるなんて、OBとして最大のしあわせと思つています。今後は校長先生はじめ諸先生、学友会の諸君どうか絶大のご理解ご協力を賜わります様おねがい申し上げます。

さて清陵湖周マラソンも七年連続完走することが出来ましたが、何時まで続くことが出来るものやら、それに何となく少しアルコールの方は控えなくちゃ、夜の二次会三次会なども慎まなくちゃ、等反省している

た。あ、然し牛山先生今は亡し。心からご冥福をお祈り致します。走るということそれは私にとって命の恩人です。更に医師にも言われ、本にも書いてあるし、他にも感ずる処あつて走り始めるの時に、長年ご縁のあつたタバコともすっかりさよならを致しました。こんなことも健康回復に役立ったでしょうか。

更にOBとして、若い現役の生徒諸君と肩を並べて走れるなんて、OBとして最大のしあわせと思つています。今後は校長先生はじめ諸先生、学友会の諸君どうか絶大のご理解ご協力を賜わります様おねがい申し上げます。

さて清陵湖周マラソンも七年連続完走することが出来ましたが、何時まで続くことが出来るものやら、それに何となく少しアルコールの方は控えなくちゃ、夜の二次会三次会なども慎まなくちゃ、等反省している

た。あ、然し牛山先生今は亡し。心からご冥福をお祈り致します。走るということそれは私にとって命の恩人です。更に医師にも言われ、本にも書いてあるし、他にも感ずる処あつて走り始めるの時に、長年ご縁のあつたタバコともすっかりさよならを致しました。こんなことも健康回復に役立ったでしょうか。

昨今です。

最近早朝、近所の横山嘉一(63回生)さんと三日一回位の割合いで、下諏訪の承知川まで時には秋宮まで旧道を往復して走りますが、時々湖畔を走る山崎壮一(51回生)さんともお会いし、激励し合つています。

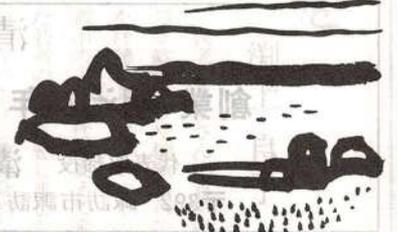
まあこれからは、皆様の指導を頂きながら、何とか色んな役や雑用から解放され、早寝早起きで早朝マラソンに充分時間をとりたいものと念願致している次第です。

空白混沌の日々

45回

我々が清水丘、諏訪中学に在学したのは昭和十四年から十九年までだった。すでに日支事変は泥沼状態に入り、さらには米英佛和を相手に、十六年末に石油を求めて、第二次世界大戦へ突入してしまつた。

こんな状況から諏訪の産業も買い手を失つた生糸から、軍需産業の大手企業の当地への疎開や、東バールを始めこれらに関連する諸々の製造・加工業の目覚ましい台頭と、今日の精密電子等の工業の芽生えの頃でも



柳沢英次

ボート競争、競馬場や霧ヶ峰でのグライターなど若い血を湧かせ、公表される成績席次に刺戟され勉学に励んだ学生らしい日々もあつた。伝統の自治、質実剛健等を堅持せんものと浩然の気を吐き、第二校歌に酔い感動発憤したことなども面映ゆく思い出される。

スカ島での玉碎等々、日本中が急速に軍事一色に統制され、考えたり批判したりなどはすべて一億総決起・国土防衛の前に封殺され、あたかも軍閥係の子備校化され、進学については子科練や幹候、さらに陸士・海兵・高等商船(すでに予備海兵化された)等々へと体的なものはほぼ強制的に志願させられた様に記憶している。

英語の時間に、今や敵性語など学ぶ要なし等と、リスチャンの先生をして涙して怒らせたほどのこっけい極まる愚行さえあつた。当時の談話会では八絃一字の大東亜共栄圏観や、神がかりな国士型思想が幅を効かせ、自由闊達な考えは全くなりやひそめ、甘えや忝意は抑止され、極めてストイックな風潮が支配していた。耐乏と戦意昂揚の中で、は幣衣破帽、素足に高下駄ゲートル巻きの乞食の様なスタイルの姿も、当時としてはまことに自然の姿では

あつた。明日に希望の少いうっ屈した中でも隠れキリシタンの様にひそやかにロマンに憧れた一こまなども断片的に思い出される。

母校を回想して

36回 五味 連

私は昭和五年入学、半学期を経た今、還暦を過ぎた年となった。齢を重ねるにしたがい人恋し、母校への愛情は深くなるばかりである。

私が母校に在学した頃は空前の農村恐慌のときであった。餓饉は暴落、製糸工場の多数倒産、賃金不払工場の続出―労働争議、小作争議の激化をみた。また軍国主義の道走り出した時代でもある。満州事変(昭6)、上海事変(昭7)、ひきつぎ日革事変(昭12)が発生をした。わが家の貧農にとっては母校への入学はおろか、社会に飛びこみ生計を維持しなければならぬ状況であった。幸いに中学校だけは、ということ

で旧制諏訪中学に入学することができた。そして母校の質実剛健、自治、千万人と雖ども我行かんの旗のもと

校風に接して、すぐれた教師に出会い、多くの学友を得ることができた。ほんとうになつかしく、うれしく思っている。

恩師のなかで特に印象の強い人では地理担当のイスカ(三沢勝衛)、数学の玄さ(三輪玄藏)、色白顔の国語担当蓮田善明、おひげの牛山(伝造)、鶴飼順弥、学生の名前をすぐ覚えてしまう体育・教練担当・真黒顔のゴボウ片岡厚、英語担当のジスイズア田中行雄の各先生等である。これらの恩師は学生からニックネームをいただいた人である。また学生から親近感と深い尊敬を受けた教師であったと思う。

学生達はこれらニックネームをもつ恩師から自主的精神に充ちた心身ともに健康な人物となるべく教育をうけ、實際生活に即し自発的精神を養ってくれた。

ついでに、出席率よく、七割である。私など同窓生のなかでは古株のなかに入ってしまった。それぞれの時代の人と混合で会合するのにも楽しきものである。

同窓会の懇親会には必ずと言ってよいほど、ニックネームのついた恩師の思い出話に花が咲く。母校・ふるさと・恩師・学友はなつかしいものである。懇親会終了のとき学生にかえって合唱する校歌にも力が入り、感激である。帰りに会員同志互いに握手しあい、再会を期している。

還暦を過ぎ、過ぎてきた道を回想し感無量なものがあふれる。母校清陵高校の発展を希い、同窓生各位の御健康を祈り筆を擱く。

(北信支部長)

清陵と共に歩んで86年

創業 明治28年 溝口洋服店

代表取締役 溝口 勉 (第48回) 溝口 高 (第84回)

〒392 諏訪市諏訪2-1-14 (電々公社前) TEL (02665) 8-0306

病院

田中クリニック

院長(外科・麻酔科) 田中 正利 (第52回生)
副院長(内科・小児科) 田中 マキ子
諏訪市元町18番11号
電話 諏訪(2)二三四三番

ダスキン

有限会社ダスキン諏訪

代表取締役 小池 武 (第48回)
〒三九二 諏訪市大字四賀一八二七
TEL (02665) ⑧三八〇〇代

乾海苔問屋

株式会社 藤 正

代表取締役 藤 森 正好 (第48回生)
取締役 藤 森 修一 (第83回生)
〒三七二 諏訪市湖南二一三七
TEL (02665) 二一五六一六
(02665) 八一三六一六

祝清陵80年史刊行

ご宿泊、各種宴会に
ご利用ください。

上諏訪温泉

緑水荘

代表取締役 小口 貴弘
(49回生)

諏訪市湖岸通り2-6-30
TEL02665(2)3670
東京営業所 TEL03(328)6986

古いのれんと新しい設備

政府登録国際観光旅館

鷺の湯

諏訪観光ホテル

代表取締役 伊東 克郎 (第50回)

〒353 諏訪市湖岸通り三二二一四
電話(0365)二一〇四八〇(代)

(有)信濃ブライダル企画

代表取締役 五味 甫

〒355 諏訪市諏訪二一九一十五
電話(0365)三二七二〇〇

豊かな明日を

築くシエル

シエル石油特約店

株式会社

細川商店

諏訪市諏訪二丁目10番4号

代表取締役 細川昭八 (第51回生)

専務取締役 矢島千晴 (第41回生)

肥料・飼料

醸造原料

農業資材

工業薬品

茶屋商事株式会社

代表取締役社長

小口 達雄 (42回生)

本社 諏訪市大字中洲字曾根田四〇八

TEL 諏訪二一六五〇〇(代)

蓼科グランドホテル

滝の湯

代表取締役 柳沢英次 (四五回)

取締役営業部長 柳沢洋介 (七三回)

子約 課長 土橋武晴 (七二回)

柳沢英伸 (七七回)

茅野市蓼科温泉

TEL 02667-2525(代)

日本料理

又 立 平

東京西新宿プラザ通り

郷土を豊かに開発する

一般土木工事

舗装工事

浚渫工事

藤森土木建設株式会社

本社 長野県諏訪市上川二五二二

代表取締役 前島 五平

三三井 光之 (第55回)

心に残る三沢先生

36回 伊藤 治夫

清水ヶ丘の学び舎の五年間の中で一番心の中に印象が残るのは、三沢勝衛先生のことです。今なお、折にふれるたびに先生の偉大さに驚いている一人であります。

今を去る五十年前のことですが、私は先生の地理の授業のある日は朝から待ち

遠しくてたまりませんでした。壇上立って最初に話された言葉が忘れられない思い出となりました。先生は教室へ入ってまず一礼した後、教科書を机の左側へ置いたまま話されました。教科書をそのまま教

えたいこうとは思わず、要すや応用面では役に立つとは生徒達がいかにして地理信じている」と言われまし

特に先生は、地質等については自分の努力で各地の調査研究により、新しく統計資料を作り、順序を立てて生徒たちの頭の中へ思いこませる「三沢方式」の教育を実践され、私たちはまた驚くほはありませ

また、先生は独学で各科目の教員の資格を取られ、天文学の研究に努力されて世界の天文学者として有名

になったのは皆さんのご承知のとおりです。私が特に申し上げたいのは、先生がガンであと三年くらいしか寿命がないと診断されながら、なおかつ最後まで生

ほたる書房

駅前店 辰野町本町1丁目 ☎3-0008
 宮木店 松電ストアー辰野店内 ☎2-3688

社長 小口興一 (64回)
 駅前店長 田中正幸 (71回)
 宮木店長 田中史彦 (76回)

年史編集に寄せて

底流に「真正の人物」

36回 岩波泰明

清陵八十年史は、漸く稿を終えることができました。同窓生各位の大変なご協力を頂きましたにもかかわらず、発行の遅延、まことに

申し訳なく、深くお詫びいたします。清陵八十年の歴史

史があまりにも素晴しかった。私どもの人生にとっては、たことに免じて発刊の遅れを平に御容赦願いたいと思

八十年は悠久の大自然の歩みからすれば、ほんの一年のことであります。その瞬かもしれません。しかし、その後、郡立諏訪中学校、県

立諏訪中学校を経て清陵高校に至るまで、母校の辿った道は決して平坦であったとはいえません。特にその草創期は波乱につぐ波乱であり、そうした中で校風が

形成されてきたのでありま

校風といえば、私たちの脳裏に浮ぶのは、自治であり、質朴剛健であり、そして「雖千万人吾往矣」の気概であります。その校風は

株式会社 誠林堂

代表取締役社長 滝沢久太郎
 代表取締役専務 滝沢 秀一 (第59回)

本社 諏訪市大手一丁目2-2 TEL(8)2626
 小売部 諏訪市末広1-14 TEL(2)6026

本社 諏訪市諏訪二丁目一八 TEL(8)2154四三

専務 笠原 厚

株式会社 笠原書店

本社 諏訪市諏訪二丁目一八 TEL(8)2154四三

既に、われらが母校には、質朴剛健の気風が漲り、自律と自由を求めて自治は歩みだしていたのであります。「千万人と雖」の心意気も、自治をすすめる原動力でありました。成程、「千万人」の夫職は大正十三年になって石門道人の筆になりましたが、創立当時から既に見られるのであります。例えば、創立当時、幾度かの学校騒動がありました。「荒風に花は多く散りて他校の庭を飾りし」と茅野蕭々を嘆かせています。つまり、優秀な生徒の幾人かはこの学校に転校せざるを得ない羽目となったことを指しているのではありませんが、そのことも自治を守り、自治を確立しようとした帰結であったのであります。自治とか質朴剛健、雖千万人吾往矣の校風は決して一高の亜流ではなかったのであります。このような事例は枚挙にいとまなく、これが確認できたことは大きな喜びでありました。

「明治のころの資料は、必ずしも充分ではなかったのでありますが、私の特に感銘を受けた一つに、建学の精神があります。いうまでもなく、教育の目標は、教育を身につけ、社会国家のために役立つ人物を訓育することにありまして、それが、これを何に重点を置くかが建学の精神といわれるものであります。そして、それがはつきりと明示されていたことは、大きな喜びでありました。

即ち、「真正の人物」を育てることがそれであり、この言葉は、母校の創立に尽精した三輪三吉先生が、学友会誌第一号の巻頭で述べているものであります。真正の人物とは、一言でいえば、聡賢であります。三輪先生は「聡賢といふ文字は今や漸く世人に忘れられ且誤解せられやし、因て姑く真正の人物と云ふ文字を用ひん。要するに是れ智徳体完備せる人を云ふものにして、即ち聡賢の別名な

「明治のころの資料は、必るのみ」と述べております。まことに高邁な建学の精神、建学の理想というべきでありましょう。西洋人は有用の人物を作ることを教育の目的としているが、単に有用といえれば重きを事功のみに置くの憾みがあるから、「真正の人物」としたとありませうか。

遠い明治二十八年は、日清戦争の最中であり、毎日のように都役所の前へ戦勝の貼紙をみに行ったというそのころの先輩は、ほとんど鬼籍に入り、直接当時の実情をお聞きする術をもたなくなり、しかも、清陵八十年史は一通の完結をみました。私どもがひそかに願うところは、輝く青史に誤りなからんとであります。

(年史編集責任者)

モの漬物

野沢菜・山午蒨
各種漬物・製造販売

有限会社 丸モ高木醸造店

代表取締役 高木 常雄 (33回)

同谷市今井区1870 TEL②—2619(代)

配給センター
岡谷市小井川7658 TEL③—0200(代)

ご子弟の免許取得には

(東京方面の方は20日間で卒業できる合宿教習で)

長野県公安委員会

茅野自動車学校

茅野市宮川坂室5299番地 電話 02667-2-4111

代表取締役 桑沢 和夫 (47回生)

専務取締役 矢崎 斉男 (51回生)

渉外部長 上條 雅夫 (50回生)

設計・監理

一級建築士事務所

なとり建築設計事務所

名執泰夫 (63回)

岡谷市田中町一丁目9番2号
TEL② 2865



marujo
UEDA
PRINTING

株式会社 マルジョー 上田印刷

本社 長野県諏訪市高島1丁目7-22
(02665) 8-5522(代)
大阪営業所 大阪市淀川区十三本町2-9-7
(06) 309-2262

代表取締役 上田善太郎 (56回)
上田進康 (61回)

書籍・雑誌・文具



博信堂

諏訪市上諏訪駅前
TEL 02665-2-0273

代表取締役 藤森俊男 (35回)
専務取締役 藤森茂雄 (66回)

祝清陵80年史刊行

株式会社

小松精機工作所

取締役会長 小松 勇(29回)
 取締役社長 小松 剛
 取締役専務 小松 誠(65回)
 取締役常務 小松 通男

諏訪市四賀桑原九四二二一
 TEL〇六五二一六一〇〇代

設計施工で郷土の
 建築に貢献する

株式会社 今井工務店

取締役社長

今井辰五郎(34回生)

長野県下諏訪町五二五二
 TEL〇六六二七七一七二二

武井外科医院

下諏訪町大社通り三三三
 TEL〇六三二(七)八〇二九
 武井 秀夫(50回)

営業品目 時計・宝石・メガネ

レコード店

株式会社 ヤマザキ

諏訪市諏訪一三十一
 TEL二一五二〇〇代

社長 山崎 壮一(51回生)
 専務 山崎 篤(67回生)
 伊藤 博(63回生)
 原 英充(65回生)
 岩波 秀成(66回生)
 柳沢 昭憲(74回生)
 八幡 昭憲(77回生)

株式会社

東精

代表取締役
 落合一生

諏訪市豊田有賀三四五一
 TEL〇六五二一五五〇八

丸山整形

外科医院

院長 丸山俊一郎

諏訪市四賀桑原八六三
 TEL〇六六五
 二一七〇〇

祝清陵80年史刊行

矢島内科医院

院長 矢嶋 淳

(46回)

茅野市 市の駅前

TEL (02667) ② -2048

司法書士
土地家屋調査士
社会保険労務士

河西勇事務所

所長 河西 勇 (55回)

諏訪漕陵会 (ボート部OB) 会長

諏訪市湖岸通り4-8-7 (河西ビル)

TEL (02665) 8-5315

長野県連合青果株式会社

諏訪市湖南三八七三

TEL 02665 (白)5500(代)

諏訪支社長

下村 幹夫 (52回)

一印諏訪
株式会社

長野県合同青果

諏訪市湖南北真志野三八七三

TEL 02665 (白)5511(代)

代表取締役 遠藤 智義 (51回)

支社長 遠藤 福将 (五六回)

常務 遠藤 博万 (六二回)

薬

社長 藤森利雄
専務 藤森横次
薬剤師 藤森良助

長野県 諏訪市 清水 2

卸 大坂屋常太郎商店
小売 大坂屋薬局

電話 02665 ② 0309(代) ② 7756 (休日・夜間専用)

信州が生んだ天下の銘酒

真マシ澄

神州一味噌

醸造元 宮坂醸造株式会社

本社 東京都中野区野方2-4-5 千165

TEL. 03(385)2121

真澄工場 諏訪市元町1-16

TEL. 02665(2)6161

丸高信州一工場 諏訪市高島一丁目8-30

TEL. 02665(2)4080

会長 宮坂 勝 第18回

社長 宮坂 順三 第29回

副社長 宮坂 水穂 第31回

副社長 宮坂伊兵衛(作平) 第40回

常務 宮坂 和宏(和夫) 第47回

常務 宮坂 正明 第47回

青刺八十周年史

同窓会に新たな“灯”

定期総会に初の紅一点

女生徒が全校生徒数の四分の一を占めるようになれば、同窓会のあり方も変わってくるのが当然。五十六年度の総会にその過渡期的現象が初めてみられた。遅

きに失した感はあるが、この灯を消すことなしに大事に育てて行きたい。

この灯とは、さる六月二十八日、諏訪市文化センターで開かれた本年度総会に

女性会員・淵上良子さんがわざわざ東京から参加されたことである。淵上さんは旧姓を守屋といひ五十六回生で女性では清陵高校初の卒業生という。「女生徒が四分の一を占めるほどになったのに、同窓会の総会に一人も出席しないのでは、後に続く人達に申しわけない」と、勇気をふるって列席させていただきました」

が総会参加の弁である。紅一点の会員を総会に送り込んだ小口楨三東京支部長(副会長)は懇親会のあいさつを行うに当たり、代役として淵上さんをマイクの前に招じた。居並ぶ男性会員の前で、堂々としかもキメの細かいあいさつをする女性代表に惜しみない拍手が送られた。



総会であいさつする淵上良子さん

創立八十周年記念式典以来の女性参加に男性のモサい」と息巻いていた。会員達、すっかりはしゃいでしまつて、杯がはずんだよつだった。そして口々に「来年は少なくとも出席者の一割程度の女性会員を集めよう。そうでなければ、実

態に即した総会とは言えない」と息巻いていた。男性会員がいかに女性会員の出席を希求しようと、女性の自覚がなければならぬ。女性会員の奮起を望んでやまない。

編集後記

★清陵八十年史の刊行に合わせて発行を命じられた会報「八十年史刊行記」がありがとうございました。★清陵同窓会が今後にかかえる重要課題に、女性会員の処遇問題がごいます。男性会員にも責任の一端はあるでしょうが、女性会員の一人ひとりが「わたしたちの会なんだ」の自覚に立たない限り、いつまでも日陰者の存在に甘んじなければならぬでしょう。

★今回はそうした問題提起の意味も含めて、本年度総会にご出席いただいた淵上良子さんに執筆をお願いすると共に、総会の模様を紹介いたしました。意図するところをおくみ取りいただければ幸いです。夜明

★そんな会報に原稿をお寄せ下さった会員諸兄姉に敬意を表すると共に、広告掲載にご協力をいただいたスポンサー各位、広告取材にご尽力を願つた山崎学校事務長ほかの皆さんに深甚なる謝意を表します。本當みません。

清陵八十年史

(九百五十一ページ)

明治二十八年創立の諏訪実科中学校から郡立諏訪中学校、県立諏訪中学校を経て現在の県立諏訪清陵高校に至るまでの歴史を克明に登載した豪華版

刊行記念会

十一月三日 午後二時

於諏訪市 ホテル成田屋

▽注文を忘れた方は刊行記念会の席上お求め下さい。部数は限定です。よろしく願います。

実費 五、〇〇〇円 (送料込み)

清陵高校第二校歌

「ああ博浪の槌とりて」

オルゴール

清陵80年史刊行を記念して三協精機の厚意により製作いたしました。

美しいボックス入り

頒価 三、〇〇〇円

清陵80年史刊行記念会当日発売(市販はいたしません) (限定品につきお早目にお申し込み下さい)

◎希望者は学校同窓会事務局

電話 ②0201番⑧0356番へ

諏訪清陵高校同窓会